

## 年頭のご挨拶



京都府宅建政治連盟  
会長 梶原義和

新年あけましておめでとうございます。

新しい年の初めを、ご家族おそろいで健やかに迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は会員の皆様には大変お世話になりました。心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、第50回衆議院議員総選挙が行われ、京政連では、我々が目指す政策の実現に向けて力を発揮いただける候補者の方を応援いたしました。その折は、各支部の役員並びに会員の皆様方から、ご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。今回の総選挙において当選を果たされた方々には、国政においても多大なるお力添えをいただけるものと期待しております。

次年度の税制や政策については、全政連と共に「令和7年度税制改正及び土地住宅政策に関する要望書」に基づいた要望活動が実り、令和7年度与党税制改正大綱が決定いたしました。

今回の税制改正大綱では、重点項目として要望していた、住宅ローン控除の子育て世帯等の借入限度額の上乗せ措置、また、床面積要件の緩和措置の延長が図られることとなりました。適用期限を迎える各特例措置についても、全て適用期限の延長がされました。

政策面では、毎年、問題視される銀行の不動産業参入について、知名度と豊富な情報量を持つ銀行に不動産仲介業等を認めれば、市場独占が生じるとともに過剰融資や不動産仲介における抱き合わせ営業による利益相反やモラル・ハザードが起きると断固阻止しています。さらに、保有不動産の賃貸業務については、金融庁の監督指針の厳格な運用を要望しております。引き続き、消費者と不動産市場関係者を守る活動を継続して参ります。

京政連では、今後の活動として、各地域において議員懇談会や首長との意見交換会を開催し、街区境界調査の活用による地籍調査の推進や空き家対策等を主軸として意見していきたいと思っております。また、各議員や首長に対し、課題や各地域に密着した政策要望の趣旨をご理解いただき、制度改正に向けてご協力いただけるよう努めて参りますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年の皆様方のご隆盛とご健勝を心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。